



# し ろ や ま

令和5年9月26日  
第6号  
校長 鎌田 史顯



## 猛暑・酷暑で運動会再延期

9/9 <sup>一度目の延期</sup> ⇒ 9/16 <sup>二度目の延期</sup> ⇒ 10/14

山形市では今年、真夏日（最高気温が30℃以上の日）の年間日数が68日となり、1889年の観測開始以来最多になりました。9月になっても猛暑が続いており、学校生活にも大きな影響を及ぼしています。

今年、米沢で中学生が部活動を終えての帰り道で、熱中症のために道路で倒れた痛ましい事故があり、さらに山形市内の中学校で体育祭練習中に13人が救急搬送される事故も起こりました。熱中症指数と気温を30分毎に測定し、運動会練習や体育の授業を1・2時間目の授業のみとしたり、屋外での活動を最長15分に制限したり、登校中に汗をかいたり、身体が熱くなったりするのをクールダウンするために、教室を早い時間からエアコンで涼しくしておく等の対応を本校ではとっておりました。

9月になっても秋らしい爽やかな天候にはならず、30℃を超える日が続いたため、運動会の練習をすることができないことと、危険な暑さが続いていることから「運動会を9月16日（土）に一週間延期」しました。山形市内小中学校の全校が、1週目・2週目の開催を見送りました。保護者の皆さまや、ご家族の皆さまがとても楽しみにしている行事ですので、一週間延ばすことも、様々ご予定がある中の三連休の初日に変更することも苦渋の決断でした。その時点で9月16日（土）開催予定校は12校でした。

10日間予報や2週間先までの天気予報では、「9月3週目は30℃以上になる日はほとんどない」とその時は予想されていましたが、予想に反して暑い日は続いてしまいました。それでも、朝夕は涼しくなり、延期した16日（土）は最高予想気温28℃程度でしたので、14日（木）総練習まで準備と練習を進めておりました。前日の13日（水）に体育祭を行った市内の中学校で、生徒が熱中症で救急搬送された記事が新聞に載っており、子どもたちに決して無理をさせず、休憩と水分補給を細目に取りながら総練習をすることを確認しました。14日は、午後の予想最高気温33℃でしたので、午前中だけの短時間で、簡略化した練習としました。開閉会式の練習、100m走の練習と計時のリハーサル、応援合戦の練習も終わり、全員リレーの練習を残すのみとなっていました。残念ながら、その時点で熱中症指数が「嚴重警戒」となり、練習はその時点で中止としました。

ちょうど応援練習が始まったころ、山形市教育委員会から「緊急連絡」があり、山形県教育委員会からの指示を受けて、山形市教育委員会も「市立小中学校の今週末までの体育的行事は延期することを決めた」ので、今日の練習は中止し、開催予定を延期するようにとの指導がありました。14日（木）に中学校2校が体育祭をしていましたが、10:30以降の内容は翌日や別日に移したとのことでした。

「子どもたちの安全を最優先する」ことは当然のことであり、危険な暑さの中、強い日差しの下に子どもたちを出すことも控えなければなりません。度重なる運動会の延期となってしまう、見通しが足りない判断をしたことを校長として心から謝罪いたします。また、度重なる変更となり、様々ご調整いただいたり、ご都合を合わせていただいたりしたにも関わらず、再度の延期となったことで、繰り返して多大なるご迷惑をお掛けしたことに重ねてお詫びいたします。

本校では、延期以降の学習と学校行事等を考慮し、運動会の開催を10月14日（土）とさせていただきます。もし、悪天候で開催できない場合は、10月16日（月）からの平日に開催いたします。大きな教育課程の変更となりますので、「学習発表会を11月17日（金）」（当初の計画では学習参観日）に変更し、「ウォークラリーは実施せず」に、縦割り班の活動を現在のところ、12月に設定する予定です。

# 「自慢の安芸クイーン」の収穫

今年も大きく実った「本沢小100周年記念で植樹された安芸クイーン」の収穫の時期になりました。9月14日(木)にご指導いただいている今野さん・千葉さんに教えていただきながら、今年の収穫を始めました。大きく実ったブドウはどれも大粒で、とっても甘く、ジューシーで美味しくできあがりしました。6年生は、2月の剪定から、2度のジベ処理、笠掛け、粒や一つの枝に実る数をそろえる作業を教えてください、全員が真剣に取り組みました。暑い夏も毎日のように水かけもしました。何度も何度もブドウの成長や実が大きくなる様子を見に行きました。本当に丁寧に、心を込めて世話をしたの結実はすばらしい体験になりました。



おいしそうな安芸クイーン

今野先生・千葉先生と一緒に収穫記念撮影

収穫の様子

生育の管理表

## しっかりできた避難・引き渡し訓練

9月22日(金)に今年度第3回目の避難訓練を行いました。想定は「地震が発生し、その後に理科室から出火」というものです。はじめに各教室で防災教育のビデオを鑑賞しました。そして、14:15に地震が発生、放送の指示で机の下にもぐります。すると非常ベルが鳴って校舎内のどこかで火災が発生、職員室の先生が火災報知機を確認して現場に走り、火事を発見します。大きな声で「火事だー!」と火事ぶれをします。次いで職員室に火災を報告して初期消火に向かい、同時に消防署に通報する流れです。そして、校内放送で「理科室から火災が発生しました。燃え移る可能性があるため、グラウンドに避難下さい」の指示で避難が始まりました。

無言で走らずに校内を移動し、外に出たら先生が誘導して走ります。国旗掲揚台前の本部まで移動して、一人一人肩に手をかけて担任が人員点呼しました。避難の指示から全校生が外に出るまでが「1分20秒(80秒)」、全員の避難確認の終了までが「2分1秒(121秒)」でした。

消防署員の方から指導を受けて消火器の使用訓練を行い、講評をいただきました。「火災現場に向かった先生が火災を発見し、大きな声での火事ぶれと職員室までの報告がよくできていた」「初期消火に来た先生は迅速であり、あの時間ならば初期消化できる時間だった」「通報訓練の先生が正確で落ち着いてしっかりできた」「避難した児童に誰もムダ話がなく、とても短時間で避難できた」「どの先生も、児童のみなさんも、しっかりと避難訓練に臨むことができおり、落ち着いて見ていることができる、すばらしい避難訓練でした」と褒めていただくことができました。

校長の講評で「避難訓練は誰のため?」「自分が助かるためのもの?」と問いかけると、「みんなのため」「全員のため」との答えが返ってきました。全員が迅速に避難し、全員が助かるために訓練が必要なが、児童のみなさんに浸透していることがわかりました。

避難訓練後は「引き渡し訓練」を行いました。メールを合図に次々と迎えに来ていただき、一人一人確認しながら、保護者の方に引き渡すことができました。実際に大雨で引き渡しが必要となった数年前、市内の学校でも周辺に交通渋滞が発生し、確認も不十分で混乱が起きたことがあった教訓から実施しています。保護者の皆様のご協力で、スムーズに引き渡しことができました。ありがとうございました。

運動会延期に伴い、10月以降について現在日程調整中です。決まり次第計画表配付、HP掲載等でお知らせいたします。